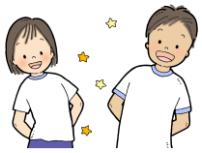

相ノ木っ子だより

平成３０年度
学校だより
７　月　号
上市町立相ノ木小学校

人は何のために生きるのか

「みなさん、いつでも来てくださいね」「夏休みに絶対来ます」「みんなで来てもいい？」

先日、５年生がグループホーム逢の希を訪問し、お年寄りの方と一緒に七夕の短冊に願いを書いたり、歌を披露したりしました。さらには、肩をもんであげたり、一緒にアイスキャンディを食べたりもしました。上記の会話は、最後の挨拶の時に交わされたものです。

子供たちとの活動に目を細めてうれしそうにされるお年寄りの方々。中には、涙ぐみながら「元気をもらいましたよ」と感謝される方も。お年寄りの方々は、本当に毎年の５年生の訪問を楽しみにしておられます。また子供たちも、甲斐甲斐しく世話をしながら、喜んでもらっていることにうれしさを隠せません。そんな互いの思いがあふれた上記の会話だったのです。

５年生は、この訪問の前日にも「こんにちは訪問」でベゴニアの花鉢を携え、独り暮らしの高齢者宅を訪問しました。民生児童委員や福祉推進員の方々の協力のもと、会話を交わしたり、けん玉の腕前を披露したりと、それぞれが交流の場をもつことができました。これらは、５年生の総合的な学習の時間「あったかハート相ノ木Ⅰ～高齢者との交流～」の活動です。交流を通して、子供たちは、高齢者の方の実態を知り、福祉やボランティアの意味や意義について考えます。

フランスの哲学者ルソーは、著書「エミール」で次のように語っています。

もっとも多く生きる人は、もっとも長く生きる人ではない
生きているという喜びを多く感じた人である

また、映画「男はつらいよ」の中で、甥の満男の「人間は何で生きていくのかな」という質問に寅さんは次のように答えています。

そうだな。今生きていて、いいなと思うことをたくさん知るためじゃないのかな

長生きされている高齢者の方々との活動を通じて、「生きる」大変さや苦労、素晴らしさや喜び等、「人が生きる」とはどんなことなのかを子供たちに感じてほしいです。そして、子供たちにとって、そこに関わる自分の存在意義を確認し、自分の生き方を考える機会になることを願います。

あらゆる危険を想定して

新潟の小２女児殺害事件、大阪地震による小４女児ブロック塀下敷き死亡事故、奥田交番・奥田小襲撃殺害事件、多数の死者・行方不明者を出した西日本豪雨による洪水・土砂災害、ここ数か月で信じられないような事件や事故、災害が起きました。

永六輔さんの著書に、こんな言葉があります。

天災には　言いようのない悲しみがあり、人災には　言いようのない怒りがあります

遺族、関係者の悲しみ、怒りは察するにあまりあり、事件や事故、災害に巻き込まれない何か手立てがあったのではないかという思いが湧き起こります。反面、身勝手な犯行、突然起こる災害、そこに居合わせた運の悪さ等、どれだけ気を付けていても避けきれない要因もあり、相ノ木っ子たちの身に起きてほしくないと願うばかりです。

とは言え、学校では、校舎出入り口の施錠、実践的な避難訓練の実施、登下校時の注意喚起等、子供たちの安全確保にしっかりと努めています。特に、子供たちの危険予知能力を高めることが重要だと考えます。たくさんの危険、場面を想定し、それを回避するために日頃からどのように行動すればよいか考え、実践できることが大切です。いたずらに危機感を煽ることは不必要ですが、学校、保護者、地域が具体的に教え導く中で、子供たちが生涯にわたって防犯意識、防災意識を高め、自分や友達、家族の命を守っていくようにしていきたいものです。

人を笑顔にする算数

５・６年生が、６月２８日（木）・２９日（金）に国立立山青少年自然の家で宿泊学習を行いました。縦割りの６班に分かれて、協力して活動に取り組みました。長尾山登山、紙すき・ハガキ作り、キャンドルサービス、ポイント探し、木の葉の栞作り等、子供たちは疲れながらも充実したものにすることができました。また、食事、入浴、清掃等、班長を中心に子供たちは主体的に取り組んでいました。

特に感心させられたのは、学年、男女関係なく班で仲よく活動する姿でした。今までも５・６年生で班を組んでの宿泊学習をたくさん見てきましたが、６年生が指示を出し、５年生はそれに従うことが多かったように思います。声を掛け合い、助け合って活動している様子からは、学年等の垣根といったものが全く感じられませんでした。

その仲のよさが如実に表れていたのが、キャンドルサービス第２部の「Ａ－１グランプリ」でした。各班でコント等を披露し、おもしろさ、楽しさを競い合うものでした。自分たちで原稿や構成を考え、多少練習し、みんなの前で演じていました。シュールな笑いや即興的なダンス等に子供たちの熱意や度胸はもちろんのこと、協力して取り組むやさしさや思いやりが垣間見られ、それぞれの班に笑いと拍手が送られました。

次のようなテレビ広告が以前流れていました。

「＋」は、たすけあう
「－」は、ひきうける
「×」は、声をかける
そして、
「÷」は、わけあう
それは、
人を笑顔にする算数、おもいやり算
ほら、やさしいでしょ

おもいやり算の上手な５・６年生。その学び、伝統が下級生にどんどん受け継がれ、ますます助け合い、引き受け合い、声をかけ合い、分け合う相ノ木っ子の集団になっていくことでしょう。子供たちのそんな素敵な姿をこれからも期待したいと思います。

行事予定（7月中旬～9月中旬）

７月１９日（木）　芸術鑑賞　10:30～
２３日（月）　地区児童会
こども 110 番の家訪問
２４日（火）　第１学期終業式
２５日（水）　夏季休業開始（～8/31）
２７日（金）　立山登山（６年）
３０日（月）　花とみどりの少年団
体験学習（～7/31）
８月　６日（月）　少年消防クラブ施設見学
８日（水）　花とみどりの少年団
リーダー研修
１４日（火）　学校閉庁日（～8/16）
２６日（日）　親子奉仕活動

９月　３日（月）　第２学期始業式
ＰＴＡ全体理事会
１０日（月）　６年ふるさと学習
１２日（水）　運動会予行練習
１５日（土）　秋季大運動会
１６日（日）　運動会予備日
１８日（火）　振替休業日